

国際宇宙ステーション日本人宇宙飛行士候補者基礎訓練におけるロシアでの  
一般サバイバル技術訓練（夏期水上）実施結果について（報告）

平成11年8月4日  
宇宙開発事業団

国際宇宙ステーション搭乗日本人宇宙飛行士候補者に対して一般サバイバル技術訓練（夏期水上）を黒海沿岸及びロシア・ガガーリン宇宙飛行士訓練センター（以下、GCTC）等で実施した結果について報告する。

1. 経緯等

- (1) ISSに搭乗する宇宙飛行士候補者の基礎訓練は、各国際パートナが国際間要求文書の共通訓練要求に基づき実施することとなっており、一般サバイバル技術訓練（夏期水上）の実施も要求されている。
- (2) ロシアでの一般サバイバル技術訓練を含む基礎訓練の実施計画は、第6回宇宙開発委員会（本年2月10日）にて報告し、了承を得た。
- (3) 現地調査及びGCTCとの協議の結果、今回の夏期水上訓練の内容について合意に至った。（本年6月7日）
- (4) 基礎訓練におけるロシアでの一般サバイバル技術訓練（夏期水上）を実施するにあたり、第24回宇宙開発委員会（本年6月23日）にて報告し、了承を得た。

2. 実施結果

- (1) 訓練対象：古川聰搭乗部員及び星出彰彦搭乗部員
- (2) 実施場所：ロシア・ガガーリン宇宙飛行士訓練センター、黒海沿岸等
- (3) 実施内容：救命器具（発煙筒、浮力装置等）、パラシュート器具等操作（講義及び実習）、カプセル脱出後の救命訓練（海上実習）等（なお、本訓練でのパラシュートに係る訓練は、器具の操作や着水訓練だけを行い、航空機等からのスカイダイビング、パラシュート落下は実施していない。）
- (4) 実施期間：平成11年7月2日（金）より7月9日（金）まで（8日間）
- (5) 実施結果：古川搭乗部員、星出搭乗部員は、ロシアでの一般サバイバル技術における水上サバイバルの講義及び実習を修了し、GCTCより修了証明書を受領した。また、安全管理、健康管理においても問題なく訓練を実施できた。

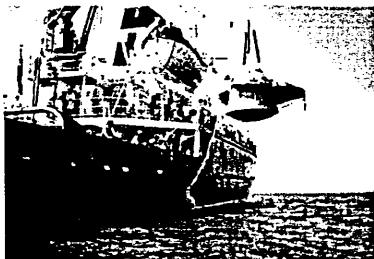
3. 今後の予定

ロシアでの一般サバイバル技術訓練については、翌年1月頃、冬期陸上訓練を行う予定。

以上

(参考)

水上サバイバル訓練



母船及び帰還カプセル



帰還カプセルからの脱出



海上で編成を組み漂流

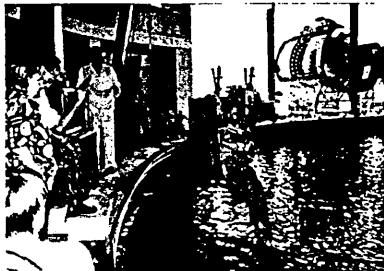


海上での発煙筒訓練

パラシュート訓練



着水前の訓練



着水訓練

第28回宇宙開発委員会（定例会議）  
議事要旨（案）

1. 日 時 平成11年7月21日（水）  
14:00～14:20

2. 場 所 委員会会議室

3. 議 題 (1) ミッション実証衛星「搭載ミッション」の公募開始について  
(2) その他

4. 資 料 委28-1 ミッション実証衛星「搭載ミッション」の公募開始について  
委28-2 第27回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理

長 柄 喜一郎

宇宙開発委員会委員

秋 葉 鎧二郎

"

末 松 安 晴

"

澤 田 茂 生

事務局

科学技術庁長官官房審議官

三 木 義 郎

科学技術庁研究開発局宇宙政策課長

船 橋 英 夫 他

6. 議 事

(1) ミッション実証衛星「搭載ミッション」の公募開始について

宇宙開発事業団より、ミッション実証衛星「搭載ミッション」の公募開始について、報告があった。（資料委28-1参照）

(2) その他

事務局より、第27回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨について説明があった後、原案通り了承された。（資料委28-2参照）

以 上